

○ 本校の概要

開校96年目を迎える本校は「山王ブランド」というく歴史と伝統に支えられた学校である。地域、保護者とも学校に対し高い期待や理想像をもっているため、丁寧かつ迅速な説明と対応が求められる。相手意識をもち、学校の対応が可視化できる教師集団を目指す。また、新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業を実践することにより、これまで経験したことのない課題に主体的に対応し最善解を見出すことのできる児童を育成する。引き続き感染症対応が必須となる年となるため、教職員には前例のない柔軟性のある発想を求め、それらを可能な限り実現させることにより、問題解決力を高める。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 6 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, 学校関係者記入欄. Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学力の向上', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感などを高めること', 'スポーツに親しむ心や運動習慣の定着による体力の向上', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割を明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指す。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。  
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。  
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す